



今年は阪神淡路大震災から30年、東日本大震災からは14年の年です。最近では昨年1月1日に発生した能登半島地震と、日本は世界有数の地震国です。ところが、三重県鈴鹿市に限ると、2007年4月以降、震度4以上の地震は発生していません。これはつまり、いつ大きな地震が起こってもおかしくない状況にあるといえます。

平田野中学校では、先日6月9日(月)に避難訓練を実施しました。また、6月5日(木)には1年生が防災学習を行いました。授業中に大きな地震が起こっても、あわてることなく行動できるよう、日頃から「地震はいつ起こってもおかしくない」ということを覚えておけば、いざというときに自分の身を守ることができると思います。また、登下校中に大きな揺れを感じた時にどうすればいいのかも知っておくと、さらに安心できるのではないのでしょうか。

【学校にいるときに地震発生、その時】

大きな揺れが来るときは、直前に「緊急地震速報」が流れます。まずは第一次避難、とにかく落下物から身を守ることです。

- 机のある教室では
机の下に隠れましょう。頭を外に出さないようにして、机の脚の部分をしっかり持ちましょう。
- 音楽室では
グランドピアノから離れて落下物に気を付けてしゃがみましょう。教科書などで頭を守りましょう。入り口近くにいた場合は、廊下に出て中央でしゃがみましょう。
- 廊下では
中央付近でしゃがみましょう。余裕があれば近くの教室の机の下にもぐりましょう。頭を保護できるものを持っていれば頭を守りましょう。
- 階段では
できる限り踊り場等の段差のないところに移動して、頭を守ってしゃがみましょう。
- 体育館では
体育館の中央に行き、手で頭を守りましょう。
- グランドでは
建物から離れて、グランドの中央に行きましょう。
- トイレでは
たとえ使用中であっても、扉が開かなくなる可能性があるので、扉を開けて落下物に気を付けてじっと動かずにいましょう。

大きな揺れは必ずおさまります。揺れがおさまったらグランドに避難しましょう。(第二次避難)

地震によって停電し、放送ができない可能性もあります。いずれにせよ近くにいる先生の指示に従いましょう。先生の指示が聞こえなくても、自分の判断で行動しましょう。校舎の中にとどまることは絶対にしてはいけません。

【登下校中に地震発生、その時】

緊急地震速報は聞こえないので、いきなり揺れを感じるようになりますが、まずはあわてないことです。考えられる危険は次の通りです。

- 建物や電柱が倒れて、電線が垂れてくる。
- かわらや外壁、看板等が落ちてくる。
- ブロック塀や石垣、自動販売機が倒れてくる。
- 液状化によって、泥水や砂が道路の隙間から噴き出してくる。

可能な限り、以上の危険がない場所に移動して揺れがおさまるのを待ちましょう。コントロールを失った車が突っ込んでくることも考えられるので、周りに注意を払うことを忘れずに。

揺れがおさまったら、あらかじめ決めておいた避難場所か自宅もしくは学校のいずれか近いところに移動しましょう。どこに行ったらいいのか迷ったら学校に来ましょう。

避難場所は、公園・学校のグラウンド・イオンモール平面駐車場が指定されています。通学路途中の公園を確認しておくといいでしょう。

各家庭におかれましても、緊急時にどこに避難するかを決めておくことをお勧めします。また、非常用持ち出し袋などの装備もあると安心です。鈴鹿市役所のホームページでは、次のような物があるとよいと案内があります。

- 飲料水・非常食・下着・タオル・ティッシュペーパー
- 救急医薬品・懐中電灯・乾電池・ラジオ・手袋
- マッチ・ライター・ろうそく・レインコート・スリッパ
- ポリ容器・ポリ袋・生理用品

ちなみに、災害時に備えて備蓄する飲料水の必要量は、1人あたり1日3リットルが目安です。最低でも3日分、できれば1週間分の飲料水を確保することが推奨されています。

1年生の防災学習では、「クロスロードゲーム」を行い、いろんな場面で自分ならどう行動するかを考え、グループで意見交流しました。これからそんな場面に出会うかもしれませんね。



雨模様だったので、グラウンドに集合する第二次避難は行いませんでしたが、緊急地震速報が聞こえてすぐに机の下に隠れることができていました。本当に大きな地震が来たときは、机も大きく動きますので、しっかり机の脚をもつことを忘れないようにしましょう。